

活動主題 「日本の伝統文化を大切にできる自分になる」

活動の価値

日本の伝統文化のよさには、四季の変化に富み、豊かでありながら厳しい自然と対峙する中で、細やかな感性を養い、美しい文化を育てていったこと、自然の素材を人間の頭脳や手を通して豊かに変える大変な作業をいとわない日常をもっていたこと、みんなが生活する中で一つの物を世代超えて大切にしてきたことがある。つまり、日本の伝統文化とは、過去の人々の文化的営みの産物であり、過去の人々の英知の蓄積である。日本の伝統文化を継承・発展させてきた先人達のおかげで現在の姿となり、海外からの注目度も高い。日本の伝統文化の根底は、自分よりも調和を重んじ、自然を慈しみ、人を思いやり、万物に感謝する日本人の心がある。今後、一層進展すると思われるグローバル社会において他国、他地域の中で自己実現を図るためには日本人としてのアイデンティティー、言い換えれば日本人としての自覚や誇りを形成することが必要である。したがって、日本の伝統文化で大切にすべき不易の部分进行を明らかにし、大切にしていこうとしなければならない。

本活動は「日本の伝統文化を大切にできる自分になる」を活動主題とし、日本の伝統文化で大切にすべきことを探究する活動である。この活動を通して子どもは日本の伝統文化のよさを実感し、日本の伝統文化を尊重する態度を養うことができる。また、歴史体験学習において奈良・京都を訪問し、日本の伝統文化や、その背景にある日本人の心に触れることは、日本人の一員としての自覚の芽生えにつながる。さらに、日本や、地域の伝統文化について理解し、尊重することは、これからの伝統文化と自分自身との関わりについて考えることができる上で大変意義深い活動である。

子どもの実態

本学級の子ども（〇名）は、4月に行われた教研式HUMAN（道徳性アセスメント）の結果によると、どの内容項目においても、全国の回答とほぼ同じ傾向が見られた。事前アンケートでは、日本の伝統文化として、「着物」、「和食」、「工芸品」などの有形のものを挙げている子どもが〇名であった。その理由を問うと、「日本のイメージだから」、「昔から受け継がれてきているから」などをあげている。一方で日本の伝統文化として、無形の精神的なものを挙げた子どもが〇名であった。その理由を問うと、「海外にはないものだと思うから」などがあげられた。また、「未来に残したい日本の伝統文化は何ですか」という質問に対して、「年中行事や地域行事」が〇名であった。その理由としては「春夏秋冬のよさがある」、「日本発祥だから」などをあげている。また、「和食」が〇名であった。その理由としては「健康的だから」、「海外からも注目されているから」などをあげている。他には着物（美しいから）、礼儀（どの時代でも大切だと思うから）などがあつた。一方で、「特にない」という答えもあつた。

以上のことから、日本の伝統文化の有形の伝統文化のものであると捉えていることが多く、その背景にある「日本人の心」を意識している子どもはほとんどいないことが分かつた。また、日本の伝統文化について、なんとなく意識しているものの、日本の伝統文化を継承・発展しようとする子どもは少ない。したがって、有形の日本の伝統文化の中から、不易の部分进行を明らかにできるように援助していく必要があると考える。

活動の指導観

そこで本活動では、日本の伝統文化を大切する心について課題を持ち、日本の伝統文化を継承・発展させていくよさや人と自然の調和があることを理解し、日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるようにする。そのために、次のような援助を行う。

- ・日本の伝統文化を大切する心について課題を持つことができるように、資料「日本の美を求めて―東山魁夷―」を活用し、歴史体験学習で学ぶことについて考える活動を設定する。
- ・日本の伝統文化を継承・発展させていくよさを理解することができるように、日本の伝統文化の探究活動を行い、資料「なおしもん」を活用する場を設定する。
- ・日本の伝統文化を継承・発展させていくよさや人と自然の調和があることを実感することができるように資料「嵐の中の三重塔」を活用し、試行実践を行い、レポートを作成する活動を設定する。
- ・日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるように、探究したことを発表し合う活動を設定し、間接資料「スカイツリーにかけた夢」を活用する場を設定する。

○ 子どもの学習目標

日本の伝統文化を大切にすることができるようになる。

○ 教師の指導目標

日本の伝統文化を大切にすることについて課題を持ち、日本の伝統文化を継承・発展させていくよさや人と自然の調和があることを理解し、日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるようにする。

活動計画 (13時間 + α)

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	指導のねらい・内容・方法
本時 1 / 2	1 ②	1 歴史体験学習で学ぶことについて考える。 (1) 資料「日本の美を求めて一東山魁夷」を通して日本のよさについて考える。 道徳科 C-17 ・日本のよさを見つめる (2) 学習課題を設定する。 総合的な学習の時間 学習課題 日本の伝統文化に触れ、日本の伝統文化のよさを探っていこう。	日本の伝統文化のよさとはなんだろう。 ↓ 歴史体験学習を通して、日本の伝統文化よさについて探っていきたいな。	日本の伝統文化を大切にすることについて課題を持つことができるようにする。 ・日本の伝統文化を大切にすることについて課題を持つことができるように、資料「日本の美を求めて一東山魁夷」を活用し、歴史体験学習で学ぶことについて考える活動を設定する。 ・活動の見通しが持つことができるように、学習課題を設定することができるようにする。
	1 ③	2 歴史体験学習での探究活動を行う。 (1) 探究計画を立て、調べる。 総合的な学習の時間 ・人、もの、こと (2) 資料「なおしもん」を活用し、日本の伝統文化の継承・発展について考える。 道徳科 C-16 ・伝統文化の尊重	日本の伝統文化は、受け継がれてきているものはなんだろう。 ↓ 先人たちの知恵と努力によって、現在の日本の伝統文化として受け継がれているんだな。	日本の伝統文化を継承・発展させていくよさや人と自然の調和があることを理解することができるようにする。 ・日本の伝統文化を継承・発展させていくよさを理解することができるように、日本の伝統文化の探究活動を行い、資料「なおしもん」を活用する場を設定する。
一 +	2 ⑤	3 歴史体験学習で奈良・京都を訪れ、探究する。 (1) 資料「嵐の中の三重塔」を活用し、人と自然の調和について考える。 道徳科 D-21 ・人間の力を越えたもの 歴史体験学習-試行実践- 特別活動：学校行事 (2) レポートを作成する。 総合的な学習の時間 ・日本の伝統文化のよさ	どうして世代や時代を超えて受け継がれてきているのだろうか。 ↓ そこには、日本人がこれまで大切にしてきたことがあるんだな。歴史体験学習で経験したことを伝えていきたいな。	・日本の伝統文化を継承・発展させていくよさや人と自然の調和があることを実感することができるように、資料「嵐の中の三重塔」を活用し、試行実践を行い、レポートを作成する活動を設定する。
	3 ③	4 日本の伝統文化を大切にすることについて考える。 (1) レポートを発表する。 ・自己の考えの表現 (2) 資料「スカイツリーにかけた夢」を活用し、日本の伝統文化のよさを見つめ直す。 道徳科 A-5 ・物事を追究する	他の人は、どのように日本の伝統文化を捉えたのだろうか。 ↓ 日本人として日本の伝統文化を大切にしていきたいな。	日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるようにする。 ・日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるように、探究したことを1年生に発表する活動を設定するとともに、資料「スカイツリーにかけた夢」を活用する。

本時 第一次の1時（1／2）

本時のねらい

日本のよさを見いだしていくことは、自然との共存や昔ながらのことを大切にする文化であることを理解し、日本のよさについて自己を見つめ、歴史体験学習への意欲をもつことができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	発問	指導のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時学習の方向性を確認する。</p> <p>(1) 京都・奈良で感じる日本のよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外観の美 ・表面的な日本のよさ <p>(2) めあてを設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">日本のよさとは、何か考えよう。</div>	<p>【補助発問1】</p> <p>なぜ、歴史体験学習で京都・奈良に行くのですか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日本の伝統文化のよさについての道徳的価値を意識することができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化のよさについての道徳的価値を意識できるように、補助発問1を行う。 ・本時の学習内容を焦点化できるように、めあてを設定する場を設定する。 	一斉	10
<p>2 東山魁夷が見いだした日本の伝統文化について考える。</p> <p>(1) 資料「日本の美を求めて―東山魁夷」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東山魁夷との出会い <p>(2) 東山魁夷の心情や作品から東山魁夷が見出した日本のよさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の文化の良さについて知ること ・海外と比べることでの日本人としての意識の深まり ・日本人としての誇りや自覚 ・日本を大切にする気持ち ・自然の中で生きる ・昔ながらのことを大切にする文化 	<p>【発問2】（中心発問）</p> <p>東山魁夷は、何に対して日本的なもののよさを見いだしたのだろうか。</p> <p>【補助発問3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、見えないところによさを感じたのだろうか。 ・東山魁夷の書く絵にはどんな思いや願いが込められているのだろうか。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">我が国のよさを見いだしていくことは、自然との共存や昔ながらのことを大切にする文化であることを理解することができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国のよさを見いだしていくことは、自然との共存や昔ながらのことを大切にする文化であることを理解することができるように発問2と補助発問3を行い、それぞれの考えを交流する場を設定する。 	個／小集団／学級集団	30
<p>3 日本の伝統文化について考え、これまでの自分について考える。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のよさを見つめる ・愛国心 ・歴史体験学習への意欲 <p>(2) 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藍を愛する心 ・日本の伝統文化を守る尊さ（東京オリンピックのエンブレム） 	<p>【発問4】</p> <p>日本の伝統や文化について、考えたことや感じたことを振り返ってみよう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">本時で考えた日本のよさについて自己を見つめ、歴史体験学習への意欲をもつことができるようにする。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時で考えた日本のよさについて自己を見つめ、歴史体験学習への意欲をもつことができるように発問4を行い、本時の学習を振り返る場を設定する。 	個／一斉	10

本活動にかかわる価値内容について

本活動は、日本の伝統文化を大切にすることについて課題を持ち、日本の伝統文化を継承・発展させていくよさや人と自然の調和があることを理解し、日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるようにすることをねらいとする。そこで、本活動に関わる道徳科の内容項目として、A-(5)、C-(16)、C-(17)、D-(21)を設定する。また、総合的な学習の時間として、日本の伝統文化の探究課題を設定する。第一次では、C-(17)を設定し、日本の伝統文化を大切にすることについて課題を持つことができるようにする。次に、総合的な学習の時間を設定し、日本の伝統文化について課題を設定し、活動の見通しを持つことができるようにする。第二次では、総合的な学習の時間を設定し、歴史体験学習を通して探究するテーマを決定し、調べたことを整理・分析することをねらいとする。次に、C-(16)を設定し、日本の伝統文化を継承・発展させていくよさを理解することができるようにする。さらに、D-(21)を設定し、人と自然の調和があることを理解することができるようにする。第三次では、総合的な学習の時間を設定し、探究テーマをわかりやすくレポートにまとめ、自己の考えを表現し、日本の伝統文化への理解を広げることができるようにする。そして、A-(5)を設定し、日本人として日本の伝統文化を大切にしようとする実践意欲を持つことができるようにする。

本時内容項目の分析

内容項目：C-(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。

「国」とは、歴史的に形成された国民、国土、伝統、文化などからなる、歴史的・文化的な共同体としての国を意味する。「国を愛する」とは、自分の国を大切に思う気持ちや国を愛そうとする心である。それは、日本人としての自覚によって支えられている。「日本人としての自覚」とは、国際社会のどこに行っても、日本人であることを誇りとして、胸を張って日本人と名乗ることができることである。また、そのような国にするために、一国民として努力しようとする国民的自覚である。日本人という自覚にいたる前提として、日本に帰属することに愛着を感じ、日本をよい国であると思い、日本をよい国にしようという意識をもつことである。我が国の伝統と文化は、長い風雪に耐えて醸成された無形の力であり性格である。ひとたびそのような伝統と文化が形成されたとき、無限の感化力を備えている。そこに受動的に動かされているのではなく、国民一人一人が動いているのだという自覚が、日本に対する愛着につながる。そして、我が国の伝統と文化と自分自身の関わりを考え、日本の伝統と文化のよさを実感することは、我が国の伝統と文化を発展させようとする意欲を高めることができる。中学校の段階では、日本の国土や歴史に対する理解が深まり、伝統と文化に対しても一層関心をもつようになる。学年が上がるにつれて、我が国固有の優れた伝統と文化などの価値を継承し新たな文化を創造していこうとする態度、国を愛する心と国家の発展に寄与しようとする態度を育成することが大切である。

したがって、「優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛すること」の実現には、日本人として日本の伝統と文化を知り、日本の伝統文化のよさを理解して継承するとともに、その発展に寄与していく必要があると子どもが自覚する必要があると考える。

本時のねらい・手だて

そこで本活動では資料「日本の美を求めて―東山魁夷」を通して、日本のよさを見いだしていくことは、自然との共存や昔ながらのことを大切にすること文化であることを理解し、日本のよさについて自己を見つめ、歴史体験学習への意欲をもつことができるようにする。そのために、次のような援助を行う。

- ・日本の伝統文化のよさについての道徳的価値を意識することができるように、補助発問1を行う。
- ・日本のよさを見いだしていくことは、自然との共存や昔ながらのことを大切にすること文化であることを理解することができるように発問2と補助発問3を行い、それぞれの考えを交流する場を設定する。
- ・本時で考えた日本のよさについて自己を見つめ、歴史体験学習への意欲をもつことができるように発問4を行い、本時の学習を振り返る場を設定する。

1 資料名 「日本の美を求めて—東山魁夷」（きみがいちばんひかるとき 1：光村図書）

2 内容項目 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度

3 資料および価値の分析

昭和43（1968）年、皇居新宮殿長和殿に謹上された壁画「朝明けの潮」は、宮内庁の依頼を受諾した東山魁夷によって、日本各地の海岸に赴いて波と岩の写生に励み、3年余りの歳月をかけて完成された。その作品は、日本古来の様式美にも倣ったとされる波と岩の表現から、美しくも厳しい海の情景には装飾性との調和が示されている。また、太古からの悠久なる波のうねりとその轟きを、「日本の象徴」として、精神性にも優れた荘厳な画面へと昇華させた大作である。魁夷氏独自の自然解釈によって人間の心の象徴としての風景が描かれた絵からは、日本の風土がもつ穏やかさや優美さ、また厳しさなどの特質を感じ取ることができる。

本資料を通して、我が国の伝統文化に対する関心とそれらをはぐくんできた我が国への親しみや愛着の情を深め、日本人としてこれまで培われた伝統や文化のもつ価値を継承し、国を愛する心をもつことの大切さに気づくことができると考える。

4 本時のねらい

日本のよさを見いだしていくことは自然との共存や昔ながらのことを大切にす文化であることを理解し、日本のよさについて自己を見つめ、歴史体験学習への意欲をもつことができるようにする。

5 展開構想

